

福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

にじいろ保育園品濃町

横浜市戸塚区品濃町 513-9

運営主体:株式会社 サクセスアカデミー

実施概要	1 ページ
総合評価 (評価結果についての講評)	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4～5 ページ
分類別評価結果	6～16 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	17～23 ページ
利用者本人調査分析	24～26 ページ
事業者コメント	27 ページ

公表日: 2012 年 2 月 10 日

実施機関: 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	にじいろ保育園品濃町（保育所）		
事業所への 報告書提出日	2012年1月12日	評価に要した期間	5ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

評価方法

1、自己評価 実施期間 2011年8月～10月17日	職員会議で全職員に趣旨を説明した。 すべての職員が持ち帰り、相談したり、考えたりしながら記入した。 各個人が記入したものをもとに、園長、主任、乳児・幼児リーダーが意見交換しながら協議し、合意してまとめた。
2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2011年9月20日～10月3日	全園児の保護者（78世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。なお、外国につながる保護者の個別の状況に合わせて、日本語以外の言語でもアンケート用紙を作成した。 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。
3、訪問実地調査 実施日：第1日 2011年11月10日 第2日 2011年11月15日	[第1日] 午前：各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：書類調査。園長・主任・本部職員に面接調査。 [第2日] 午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 昼食：2歳児クラス、幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：各クラス担任保育士6名、栄養士1名、非常勤職員1名、主任に個別に面接調査。 その後、園長・主任・本部職員に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。
4、利用者本人調査 実施日：第1日 2011年11月10日 第2日 2011年11月15日	観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

にじいる保育園信濃町は、JR 横須賀線「東戸塚」駅から歩いて 5 分ほどの、商業ビルやマンションが立ち並ぶ地域にあります。駅から近いビル街の中にはありますが、比較的静かな環境です。また、周辺には公園が多く、子どもたちは身近に季節の自然を楽しむことができます。

開設は 2009 年（平成 21 年）4 月 1 日で、運営法人は株式会社サクセスアカデミーです。運営法人は保育園・学童クラブ・児童館の運営、病院・企業・大学内の保育受託サービス、保育施設運営のコンサルティングサービスを、首都圏を中心に手広く展開しています。

開園時間は、平日は午前 7 時～午後 8 時、土曜日は午前 7 時～午後 6 時です（延長時間を含む）。定員は 81 名です。

鉄筋 2 階建ての園舎は、もともと別の企業の施設であった建物を改装して用いています。南向きの窓からの採光がよく、広々としていて、床、ロッカーなどは木製で木のぬくもりが感じられます。南面には小さいながらも園庭があり、隅で子どもたちが野菜を育てたり、夏にはプール遊びをしたりすることができます。

保育理念は『～みんなが輝く社会のために～「陽だまりのような保育園」「地域と共に育つ保育園」「子どもと共に輝いていける保育園』、保育目標は「あたたかな空間（いえ）が人を育てる」という企業理念に基づいて「みとめ愛」「みつめ愛」「ひびき愛」を掲げています。

高く評価できる点

1、子どもたちは、のびのびと元気に園生活を楽しんでいます

保育士は子どもたちの思いを大切に、そばで見守り、必要なときは支援しています。

乳児は、保育士にたくさん話しかけられ、スキンシップを取ってもらっていて、安心して落ち着いています。幼児は、保育士の見守りのもと、のびのびと自分たちで好きなことを選んで遊んだり、友だちとゲーム性のある遊びをしたりしています。

保育士は子どもたちに問いかけ、子どもの気持ちや考えを一つひとつ確かめています。保育士にゆっくりと話をたくさん聞いてもらっているので、子どもは乳児でもおしゃべりが大好きで、幼児になると自分の思いや考えを言葉できちんと伝えることができます。

身体を動かすことも大好きで、公園などの野外活動では、アスレチックやかけっこ、鬼ごっこ、ドッジボールなどで、思い切り体を動かしています。身体を動かしているときの子どもたちはとても活き活きとしていて、大きな声が出て楽しそうです。遊びながら、大きな声で歌を歌う子どももいます。

このように、とても元気な子どもたちですが、絵本を読んでもらうのも大好きで、集中して聞くことができます。子どもたちの表情は活き活きとしていて、絵本に夢中になるあまり気持ちと一緒に身体も少しずつ絵本に近づいていく姿を、観察時には見ることができました。幼児になると絵のない素話も集中して聞くことができます。

このように、子どもたちはのびのびと園生活を楽しんでいます。

2、保育士は子どもの心を大切に、連携して保育にあたっています

保育士は子どもたちの気持ちや考えを尊重し、聞く姿勢を大切に、保育にあたっています。活動の際には、活動の内容や目的を説明するだけでなく、子どもが納得できるよう、子どもに問いかけ子ども自

身が考えられるよう働きかけています。危険がない限り子どもの自主性に任せていて、危険がないようそばで見守っています。常に子どもに寄り添い、信頼関係を築くよう心掛けています。

また保育士は、毎日ミーティングを行い、その日の子どもたちの様子や行事、感染症などの情報を共有しています。保育中にも、子どもたちの様子などを絶えず口頭で確認しあい、情報を共有しています。朝夕の子どもたちの様子も伝達ノートを用いるだけでなく、口頭でも確認しています。持ち場を離れるときには、お互いに声を掛け合い、連携して保育にあたっています。

このように、保育士は連携し保育にあたっています。

3、保育士のレベルアップに熱心です

園では「あたたかな空間(いえ)が人を育てる」という理念を実現するためには、人の育成が大切と考え、保育士の育成に力を入れています。

保育士は新人研修やリーダー研修、1歳児、2歳児と担当年齢ごとの研修など、経験や実務に応じた研修に参加しています。内部研修だけでなく、外部研修にも積極的に参加することができます。研修に参加した保育士は研修報告を提出するとともに、ミーティングや職員会議で報告し、保育の現場で生かしています。

また、園長・主任は日常の保育の中で、保育士自身が考え経験することが大切と考えていて、保育の様子を見て回り見守っていますが、必要に応じて注意したり、アドバイスをしたりしています。保育士が気楽に相談しやすいような雰囲気作りを心がけていて、保育士は何かあれば必ず報告し、相談しています。このように報告・連絡・相談の体制を作りあげることにより、必要なアドバイスをすることができます。

保育士は勉強する姿勢をもち、ひたむきに保育に取り組んでいて、自分たちの課題を認識しています。今後、このような研修や現場での研鑽を重ねることにより、自分たちが目指す保育が実現することが期待されます。

さらなる取り組みが期待される点

保育園のノウハウを地域の子育て支援に生かすことが期待されます

子どもたちや保育士は、散歩や園外活動の際には、近所の住民と積極的にあいさつや会話をし、良好な関係を築いています。地域の子どもたちに対する目はあたたかく、地域や商店の人々は子どもたちに優しく声をかけてくれます。また、散歩先の公園では、地域の親子連れと仲良く遊んでいます。このようなあたたかな地域に培われ、子どもたちはたくさんのことを学び、のびのびと園生活を楽しんでいます。

このような地域に対する園からの発信としては、夕涼み会、運動会、人形劇などの園の行事に地域の親子へ参加を呼びかけてはいるものの、一時保育や園庭開放、育児に関する講習会などは実施していません。

今後は、検討中の園庭開放を実現するとともに、育児に関する講習会などを実施し、園が培った育児に関するノウハウを地域へ活かすことが期待されます。

評価領域ごとの特記事項

このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って記載しています。

1、人権の尊重

- ・保育理念として『～みんなが輝く社会のために～「陽だまりのような保育園」「地域と共に育つ保育園」「子どもと共に輝いていける保育園』、保育目標として「みとめ愛」「見つめ愛」「ひびき愛」を掲げています。保育理念、保育目標は、利用者本人を尊重したものとなっています。
- ・人権マニュアルがあります。また、保育ガイドに具体的に配慮することが書かれていて、年1回全職員で読み合わせを行い確認しています。主任は各保育室を見て回り、言葉遣いなどで気になることがあったときにはその都度注意しています。
- ・虐待に関するマニュアルがあり、全職員に配布されており、さらに園内の研修で虐待についてしっかりと学習しています
- ・守秘義務や個人情報の取り扱いについての規程があり、全職員に周知しています。ボランティアや実習生に対しては、オリエンテーションのときに口頭で説明し誓約書を取っています。保護者に対しては、説明するだけでなく、画像承諾書など文書で確認しています。個人情報に関する書類は、事務所の鍵のかかる書庫に保管しています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・ままごと、ブロック、パズル、絵本などが子どもの手の届く位置に並べられ、子どもが自分で取り出して遊べるようになっています。年齢や発達にふさわしいおもちゃを用意するとともに、季節や子どもの興味に合わせておもちゃの入れ替えを行っています。
- ・活動に際して、保育士は常に子どもに問いかけ、子どもの意見や考えを確認し、子どもの声を聞き逃さないよう心がけています。また、子どもの好きな絵本を劇遊びに発展させ年度末の発表会で発表するなど、子どもの自由な発想を集団活動に取り入れています。
- ・幼児は月2回の造形活動を行っています。
- ・毎月ボランティアによるお話をしています。子どもたちは本を聞く姿勢を身につけていて、乳児でも集中して聞くことができます。
- ・晴れていれば毎日、散歩に出かけています。園の周辺にはたくさんの公園があり、体を動かすことができます。散歩マップを作成し、子どもの発達に合わせ散歩コースを工夫し、「歩く力」を身につけています。
- ・0歳児～5歳児でそれぞれ年間食育計画を作成し、発達に合わせた食育を行っています。子どもたちはクッキングや皮むき、配膳当番などを行っています。また、栄養士がその日の献立の素材について三色栄養素のクイズを行い、食への関心を育てています。
- ・食材を仕入れる際には必ず産地を確認し、安全性には配慮しています。野菜は、地産地消の観点から、地元で採れた野菜を地域の商店から仕入れるようにしています。また、食器は磁器を用いています。
- ・トイレトレーニングは、オマルになれることから始め、一人ひとりの排泄リズムに合わせ、保護者の意向を確認しながら、丁寧に進めています。園での排泄状況は連絡ノートを用いて保護者に伝え、連携しています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・保育課程に基づき、各年齢別の「年間保育指導計画」が策定されています。指導計画は期ごとに振り返りが行われており、次期へつなげたいことが記載され、計画に柔軟性が持たされています。
- ・0歳児、1歳児の子どもについては、個別指導計画を作っています。また、2歳児以上の子どもについては、課題がある場合は、個別の指導計画を作成しています。個別の指導計画については、月案、週案の作成段階で見直しており、柔軟な対応を行っています。
- ・アレルギー疾患のある子どもについては、保護者面談のときに、詳細に情報を収集し、医師の指示書に基づいて除去食を提供するなど、適切な対応をしています。

- ・第三者委員を設け、苦情を申し立てることができる仕組みを取っており、玄関入り口に苦情申し立ての仕組みを掲示しています。
- ・健康管理、衛生管理、安全管理などの各種マニュアルが整備されていて、全職員に周知しています。
- ・園での子どもの健康状態で気になることがあったときには連絡ノートに記入するとともに、降園時に保護者に口頭で伝えていきます。情報は引き継ぎボードを用い翌朝の早番保育士に伝え、翌朝にも保護者に声をかけ確認しています。
- ・災害時伝言ダイヤル、伝言板を導入しています。現在、保護者向け一斉メールの導入も検討しています。
- ・毎月、地震・火災などを想定した避難訓練を実行しています。また、保護者が参加し、災害時引き渡し訓練、伝言ダイヤルの訓練も実行しています。

4、地域との交流・連携

- ・園の運営委員会に民生委員・児童委員が入っており、地域からの保育園に対する要望を聞いています。また、園の行事に参加した地域の住民の育児相談や散歩先で出会った親子連れとの交流を通して、地域の子育て支援ニーズを把握しています。
- ・園行事である夕涼み会、人形劇、運動会などに参加した地域の子どもたちとの交流保育を行っています。園庭開放については現在検討中です。
- ・園として地域住民に向けて子育てや保育に関する講習会を実施するまでには至っていません。
- ・保育士や子どもたちは、散歩や買い物のときに地域住民と積極的にあいさつをし、会話を交わすなど、友好的な関係を築くための取り組みを重ねています。
- ・5歳児は近隣の保育園とのドッジボール大会に参加し、交流しています。また、近くの有料老人ホームを訪問し、組体操やソーラン節を披露し、交流しています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・規範・倫理が明文化されています。倫理規定は運営法人によって作られており、それが全職員に配布されています。
- ・年間の事業を総括した事業報告書は、保育園の入り口にファイルしており、保護者がいつでも見られるようになっています。
- ・年間行事など重要なイベントに関しては、さまざまな部署からの職員が、チームを設けて企画や運営を行っており、組織をあげて取り組む仕組みがあります。
- ・保育士は困ったことや、問題が生じたときなどは、気軽に主任に相談しています。また、主任から見て問題と感じたときには、現場に積極的に助言し、支援しています。
- ・園としての中長期計画は持っていませんが、運営法人が他の保育園も含めて、全体的な中長期的な計画を策定しています。

6、職員の資質向上の促進

- ・職員の資質向上のために、職員が自主的に年間研修スケジュールを作成しており、さらに職員には自己目標を設定し、園長が年2回の面接を行うなど、園としての人材育成は計画的に行われています。
- ・職員は年度の始めに「自己目標計画」を策定し、業務内容、課題などが設定され、年度末にその達成度が評価され、指導改善点などが指摘される仕組みができています。
- ・研修参加者は、職員会議などで積極的に研修内容を報告しており、研修成果を全体で共有しています。また研修記録を作成しており、記録ファイルは職員が自由に見ることができます。
- ・職員会議などで、保育の工夫、サービスの向上のあり方を常に議論し、勉強の場を持っています。さらに、困難事例のケース研究を行う中で、より一層の工夫がなされています。
- ・保育士は個々の日誌の中で反省点や、改善点を記入し、次の行動に反映させています。園長、主任がこれらの記録を必ずチェックし、適切な助言や支援を行っています。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。



「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>  <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、保護者の実状などを考慮して作成されているか。</p> <p>(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の理念は、1.陽だまりのような保育園、2.地域と共に育つ保育園、3.子どもと共に輝いていける保育園、となっています。 ・ 以上の理念から以下の3つの愛を大切にしています。「みとめ愛」（自分らしさを発揮しながら、相手を尊重し、信頼し合い、認め合い、自分の分のことも友達のこと好きといえる子ども）、「みつめ愛」（いつも見守られ、見つめられている安定した空間の中で、心身ともに健やかな子ども、「ひびき愛」（響きあい共感しあう喜びを自信につなげ、力強くたくましく生きていける子ども）このように、保育理念は利用者本人を尊重したものとなっています。 ・ 事業計画の中に、『保育の主体者は子どもたちであることを念頭に、「やらせる」のではなく、「やってみたい」という気持ちを大切に、子どもも保育士も共に学び、一緒に楽しみ、共に成長していく』とあり、子どもの最善の利益を第一義として作成されています。 ・ 保育課程に基づき、各年齢別の「年間保育指導計画」が策定されています。 ・ 指導計画は期ごとに振り返りが行われており、次期へつなげたいことが記載されて、計画に柔軟性が持たされています。
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>  <p>(1)入園前に子どもの発達状況や課題を把握しているか。</p> <p>(2)新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。</p> <p>(3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入園説明会の前に、必要な書類を保護者に送付し、説明会当日に書類の内容を確認しながら個別面接をしています。 ・ 入園前からの家庭の状況や子どもの生育状況などを記載した児童票を作成しており、これが入園後の保育に活かされています。 ・ 入園説明会において、ならし保育の予定表を配布しており、必要に応じてならし保育を実施しています。 ・ 0～2歳児までは、毎日連絡ノートを作成しており、保護者との連絡を密にしています。幼児については必要に応じて連絡ノートを作成しています。 ・ 毎月のクラス会議で、個々の子どもの状況を把握して、翌月の月案や週案などの指導計画に反映しています。 ・ 連絡ノートなどから得られた意見や、毎日の保護者との会話の中で、保護者の意向を把握しており、指導計画に反映させています。

- 3 快適な施設環境の確保



- (1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。
- (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- ・ 室内外とも清掃が行き届いており、清潔に保たれています。
- ・ エアコンディショナーが各部屋に設置されており、空調がきちんと保たれているのとともに、各部屋に設置された空気清浄機兼加湿器により、通風・換気などは適切に行われています。
- ・ 日当たりは確保されており、陽光が十分取り入れられる構造となっています。
- ・ 沐浴設備や温水シャワー設備があり、体を清潔にできる設備が用意されています。
- ・ 水まわりの清掃は毎日行っており、沐浴・温水シャワー設備等は清潔が保たれています。
- ・ 0、1、2歳児の部屋では机を複数配置し、小グループごとの保育ができる仕組みを作っています。
- ・ 2階のフロアでは3、4、5歳児が異年齢児合同で保育できる空間があります。

- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- (1)子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。
- (2)子ども一人ひとりの発達の段階に応じた対応をし、その記録があるか。

- ・ 0歳児、1歳児の子どもについては、個別指導計画を作っています。また、2歳児以上の子どもについては、課題がある場合は、個別の指導計画を作成しています。
- ・ 個別の指導計画については、月案、週案の作成段階で見直しており、柔軟な対応を行っています。
- ・ 子どもの個々のファイルを作成し、子どもの成長を記録する仕組みができています。
- ・ 入園後は子どもの身長・体重を測定し、記録しており、成長曲線を作成しています。
- ・ 進級時には、経過記録を引き継いでおり、個々の子どもの情報が伝達されています。

- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- (1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。
- (2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。
- (3)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていないか。
- (4)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

- ・ 特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。
- ・ 特に配慮を要する子どもについては、職員の中でケース会議が行われ、特別な記録をつけています。
- ・ エレベータを設置しており、階段を利用せずに2階にいけるようになっています。入り口はスロープとなっており、バリアフリーの構造となっています。
- ・ 障がいのある子どもを受け入れており、障がいの特性を考慮して、個別指導計画を立てています。
- ・ 虐待に関するマニュアルがあり、全職員に配布されており、さらに園内の研修で虐待についてしっかりと学習しています。
- ・ 虐待については、まだ事象としては発生していませんが、保護者や子どもを注意深く見ており、問題が発生したと考えられる場合には、児童相談所や区役所との連絡を取れる体制は整えています。
- ・ アレルギー疾患のある子どもについては、保護者面談のときに、詳細に情報を収集し、医師の指示書に基づいて除去食を提供するなど、適切な対応をしています。
- ・ 代替食・除去食を提供する場合は、専用のトレイや、表示札を使用し、食事をするテーブルの場所を決め、誤食がないように配慮しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国籍の子どもを受け入れていますが、分け隔てなく接し、生活習慣や考え方の違いなどは尊重しています。 ・ 文化や生活習慣の違いなどは他の子どもたちが理解できるように配慮していますが、文化の違いなどを理解させるための積極的な対応は今後の課題といえます。 ・ 意思疎通が困難な外国籍の子どもや保護者には、ゆっくりと丁寧な話し方で伝達していますが、今後はさらに必要に応じてボランティアの通訳などの対応が望まれます。
<p>- 6 苦情解決体制</p>  <p>(1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p> <p>(2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情を受け付ける担当が決まっており、入園時に保護者に説明しています。 ・ 第三者委員を設け、苦情を申し立てることができる仕組みを取っており、玄関入り口に苦情申し立ての仕組みを張り出しています。 ・ 保護者面談や懇談会などで問題点や要望を聞いています。また、「すまいるBOX（ご意見箱）」を玄関に置いています。しかし、より積極的に要望や苦情などを把握するため、アンケートの実施などの検討が望まれます。 ・ 第三者委員のほかに、区福祉保健センターや市福祉調整委員会といった園以外の相談機関の案内も掲示しています。 ・ 「苦情解決マニュアル」があり、保護者からの要望や苦情への対応方法を職員に周知しています。 ・ 苦情に対応して解決した経過を記録に残しています。この記録は、職員は誰でも見ることができるようになっています。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p>  <p>(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p>(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p>(3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p>(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p>(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p>(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中になされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ままごと、ブロック、パズル、絵本などが子どもの手の届く位置に並べられ、子どもが自分で取り出して遊べるようになっています。年齢や発達にふさわしいおもちゃを用意するとともに、季節や子どもの興味に合わせておもちゃの入れ替えを行っています。 ・畳やマット、パーテーションなどを用いてコーナーを作り、子どもが落ち着いて遊べる環境を確保しています。 ・活動に際して、保育士は常に子どもに問いかけ、子どもの意見や考えを確認し、子どもの声を聞き逃さないよう心がけています。また、子どもの好きな絵本を劇遊びに発展させ年度末の発表会で発表するなど、子どもの自由な発想を集団活動に取り入れています。 ・自由遊びにおいては、子どもたちは友だちと役割を決めてままごとや人形遊びをしたり、2人でブロックをしたり、一人でじっくり絵本を読んだり、一人ひとりが興味・関心を持って遊んでいます。保育士はそばで見守り、必要に応じて中に入って手本を見せたり、声かけしたり、おもちゃを足したりして援助しています。 ・散歩で出会った地域の住民と、保育士や子どもたちはあいさつや会話を交わしています。また、子どもたちは散歩先の公園で地域の親子連れと一緒に遊んでいます。子どもたちはさらに、近隣の商店とあいさつを交わしたり、買い物に出かけたりし交流しています。 ・幼児は月2回の造形活動を行っています。 ・毎月お話をしています。子どもたちは本を聞く姿勢を身につけていて、乳児でも集中して聞くことができます。 ・子どもたちは散歩や遊びの中で大きな声で歌を歌ったり、自由に絵を描いたりしています。 ・子ども同士のけんかに関しては、保育士は自分たちで話し合うことを基本として見守っていますが、危険なときには間に入って、お互いの思いを伝え仲立ちしています。 ・晴れていれば毎日、散歩に出かけています。園の周辺にはたくさんの公園があり、体を動かすことができます。散歩マップを作成し、子どもの発達に合わせ散歩コースを工夫し、「歩く力」を身につけています。 ・跳び箱やマット運動、鉄棒、リズムなどを取り入れています。また、散歩先の公園でもかけっこや鬼ごっこ、リレー、ドッジボールなど、運動能力を高められるような遊びを取り入れています。
<p>- 1 保育内容[生活]</p>  <p>(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p> <p>(8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授乳するときや離乳食を食べさせるときは、子どものペースに合わせてゆっくりと食べさせています。保育士は「もぐもぐ」「おいしいね」「すごいね」「よく食べるね」などと子どもに声をかけていて、子どもたちは保育士や友達とおしゃべりしながら、楽しく食事しています。 ・0歳児～5歳児でそれぞれ年間食育計画を作成し、発達に合わせた食育を行っています。子どもたちはクッキングや皮むき、配膳当番など

<p>(9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。</p> <p>(10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p> <p>(11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p> <p>(12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p>	<p>を行っています。また、栄養士がその日の献立の素材について三色栄養素のクイズを行い、食への関心を育てています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材を仕入れる際には必ず産地を確認し、安全性には配慮しています。野菜は、地産地消の観点から、地元で採れた野菜を地域の商店から仕入れるようにしています。また、食器は磁器を用いています。 ・月1回の給食会議において、園長、主任、保育士、栄養士が子どもの喫食状況について話し合い、次の献立に生かしています。 ・栄養士は各クラスを回り、子どもたちの喫食状況を見るとともに、子どもたちの献立についての声を直接聞いています。 ・献立表を保護者に毎月配布するとともに、毎月給食だよりを発行し、献立作成のポイントや食育、食についての子どもの様子について情報提供しています。 ・年度始めの0歳児の懇談会において、離乳食を試食する機会を設けています。また保育参加の際にも、保護者が試食することができます。 ・乳幼児突発死症候群（SIDS）対策として、午睡時には10分ごとに子どもの呼吸をチェックし、午睡チェック表を付けています。 ・年長児は子どもの様子を見ながら、1月ごろには午睡をなくしています。 ・トイレトレーニングは、オマルになれることから始め、一人ひとりの排泄リズムに合わせ、保護者の意向を確認しながら丁寧に進めています。園での排泄状況は連絡ノートを用いて保護者に伝え、連携しています。
--	---

<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p>  <p>(1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p> <p>(2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。</p> <p>(3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理マニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの健康状態を把握している。 ・園での子どもの健康状態で気になることがあったときには連絡ノートに記入するとともに、降園時に保護者に口頭で伝えています。情報は引き継ぎボードを用い翌朝の早番保育士に伝え、翌朝にも保護者に声をかけ確認しています。 ・0歳から子どもの様子を見ながら歯磨き指導を行っています。また、年1回、歯科衛生士により歯磨き指導を行っています。 ・戸塚区福祉保健センターによる手洗い指導を受けています。子どもたちは爪ブラシを用い、丁寧に手洗いをしています。 ・年2回の健康診断、年1回の歯科健診を行い、結果を記録しています。健康診断・歯科健診の結果は保護者にその日のうちに伝えています。 ・感染症対応マニュアルがあります。 ・登園停止基準や保育中に感染症が生じた場合の対応手順があり、保護者にも周知しています。保育中に発症した場合には、速やかに保護者に連絡するとともに、保護者の迎えを待つ間、他の子どもたちから隔離し安静に休ませています。
--	---

<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p>  <p>(4)衛生管理が適切に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルがあり、非常勤職員を含む全職員に配布し周知しています。園内はマニュアルに基づき清掃が行われ、清潔に保たれています。
---	---

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- (5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。
- (6)事故や怪我の発生時および事後の対応体制が確立しているか。
- (7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

- ・安全管理マニュアルがあり、全職員に周知しています。
- ・安全点検表に基づき、週1回点検しています。
- ・災害時伝言ダイヤル、伝言板を導入しています。現在、保護者向け一斉メールの導入も検討しています。
- ・毎月、地震・火災などを想定した避難訓練を実行しています。また、保護者が参加し、災害時引き渡し訓練、伝言ダイヤルの訓練も実行しています。
- ・ピアノや大きな家具は転倒防止の安全対策を講じていますが、仕切りのロッカーや電子オルガンなどに対しても転倒防止のための工夫が望まれます。
- ・子どものけがに関しては、軽傷であっても必ず連絡ノートに記載するとともに、降園時に口頭で保護者に説明しています。通院が必要な場合には、即時保護者に連絡し、対応について確認しています。
- ・ひやっとした場合やけがの場合は「ヒヤリハット」や「けが報告書」「事故報告書」に記入し、ミーティングや職員会議で対応や改善について話し合い、全職員に周知しています。また、系列園の事故についても職員会議で報告し、改善に活かしています。
- ・玄関はオートロックになっていて、常時施錠されています。保護者アンケートに、保護者から不安の声があがっているため、さらなる点検と保護者への園の不審者侵入防止対策についての説明が望まれます。
- ・不審者対応訓練を実施しています。
- ・警備会社への警報器が設置されていて、緊急時にはいつでも警備会社が駆けつける体制が整っています。

- 3 人権の尊重



- (1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (5)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・人権マニュアルがあります。また、保育ガイドに具体的に配慮することが書かれていて、年1回全職員で読み合わせを行い確認しています。主任は各保育室を見て回り、言葉遣いなどで気になることがあったときにはその都度注意しています。
- ・保育士は子どもの視線に合わせ、ゆっくりと分かりやすい言葉で話しかけていて、せかしたり強制したりすることはありません。
- ・保育士は子どもの話をよく聞いていて、子どもの意思や考えを尊重しています。また、子どもに注意するときはその子どもの耳元でその子どもにだけ聞こえるよう話しかけていて、子どもの自尊心を大切にしています。
- ・保育室はすべてが見通せ、声が通りやすい構造となっているので、コーナーなど子どもが落ち着いて静かに過ごせる場所を確保するためのさらなる環境設定の工夫が望まれます。
- ・守秘義務や個人情報の取り扱いについての規程があり、全職員に周知しています。ボランティアや実習生に対しては、オリエンテーションのときに口頭で説明し誓約書を取っています。保護者に対しては、説明するだけでなく、画像承諾書など文書で確認しています。個人情報に関する書類は、事務所の鍵のかかる書庫に保健しています。
- ・職員会議などで、無意識に性差による固定観念で保育をしていないか話し合っていて、遊びや行事の役割、順番、グループ分け、整列など性別にしています。

- 4 保護者との交流・連携



(1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。

(2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。

(3)保護者の相談に応じているか。

(4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。

(5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。

(6)保護者の自主的な活動の援助や意見交換を行っているか。

- ・入園説明会、懇談会で保護者に対して園の理念や保育の基本方針について説明しています。また、玄関や保育室に保育方針を掲示し、周知しています。
- ・乳児は毎日、幼児は必要時に連絡ノートを用いて保護者と情報交換をしています。また、日々の送迎時には、保育士はその日の子どもの様子を口頭で保護者に伝えるようにしています。
- ・懇談会を年2回実施しています。また、個人面談は、年1回実施ですが、保護者より要望があれば、随時対応しています。
- ・保護者からの相談を受けた職員は、クラスリーダー、主任、園長に相談し、助言が受けられる体制ができています。相談は面談表に記録し、育児相談ファイルにファイルし、継続的なフォローができるようになっています。また、必要に応じて、法人の契約している臨床心理士が保護者の相談にのることもあります。
- ・毎月、園だより(にじいろだより)、クラスだより、給食だより、ほげんだよりを発行し、保護者に情報提供しています。日々のクラスの保育の様子は、玄関に掲示しています。
- ・保育参加の期間を設け、保護者に参加を呼びかけています。
- ・年1回の運営委員会に各クラス代表として保護者が参加していて、情報交換を行い、意見や要望を聞いています。園庭の活用や震災の対策についての保護者からの要望を受け、対応した事例があります。

評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。 (2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園の運営委員会に民生委員・児童委員が入っており、地域からの保育園に対する要望を聞いています。また、園の行事に参加した地域の住民の育児相談や散歩先で出会った親子連れとの交流を通して、地域の子育て支援ニーズを把握しています。 ・園行事である夕涼み会、人形劇、運動会などに参加した地域の子もたちとの交流保育を行っています。園庭開放については現在検討中です。 ・地域の保育園 11 園合同で「ほいくえんのあきのまつり」に参加していますが、園として地域住民に向けて子育てや保育に関する講習会を実施するまでには至っていません。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1)地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。 (2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・育児相談を実施していて、園の掲示板で案内しています。 ・園や郵便局の掲示板で、園の行事などの情報提供をしています。 ・関係機関との連携の担当は園長で、戸塚区役所、戸塚地域療育センター、南部児童相談所などとの日常的な連携ができています。

評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <p>(1) 保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。 (2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夕涼み会、運動会、人形劇などの園の行事に地域住民の参加を呼びかけています。 ・月1回、地域のボランティアグループによるお話会を実施しています。 ・要請があればいつでも地域への施設開放や備品などの貸し出しをする準備はありますが、今のところ具体的な実績はありません。 ・保育士や子どもたちは、散歩や買い物ときに地域住民と積極的にあいさつし、会話を交わすなど、友好的な関係を築くための取り組みを重ねています。 ・5歳児は近隣の保育園とのドッジボール大会に参加し、交流しています。 ・5歳児が近くの有料老人ホームを訪問し、組体操やソーラン節を披露し、交流しています。 ・子どもたちは、白旗神社のどんど焼き、近隣の獅子舞などの地域の行事に参加しています。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p>  <p>(1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。 (2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットや法人のホームページで園の情報を提供しています。 ・園の基本方針や利用条件・サービス内容などについてパンフレットに基づいて、園長、主任が説明しています。園見学の問い合わせがあれば、なるべく希望の日に対応できるようにしています。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p>  <p>(1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。 (2) 実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや実習生受け入れのためのマニュアルがある。 ・受け入れ時にオリエンテーションを行い、園の方針を説明しています。また、守秘義務について説明し、誓約書に署名してもらっています。 ・ボランティアや実習生の意見や感想を聞き、園運営に生かしています。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p>  <p>(1)保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。 (2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。 (3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営法人が園の運営に必要な人材をチェックし、必要な人材の補充を行っています。 ・ 職員の資質向上のために、職員が自主的に年間研修スケジュールを作成しており、さらに職員には自己目標を設定し、園長が年2回の面接を行うなど、園としての人材育成は計画的に行われています。 ・ 職員は年度の始めに「自己目標計画」を策定し、業務内容、課題などが設定され、年度末にその達成度が評価され、指導改善点などが指摘される仕組みができています。 ・ 研修参加者は、職員会議などで積極的に研修内容を報告しており、研修成果を全体で共有しています。また研修記録を作成しており、記録ファイルは職員が自由に見ることができます。 ・ 業務マニュアルは非常勤職員にも入社時に配布しており、保育方針、保育の理念を周知しています。 ・ 複数の担任がいるクラスでは、常勤職員と非常勤職員を組み合わせ担任としており、常勤職員の経歴が浅い場合には、経験豊富な非常勤職員と組み合わせ、バランスを取っています。 ・ 非常勤職員に対しても、新任教育を運営法人が行っており、保育士の心得・保育のポイントを研修・教育しています。
<p>- 2 職員の技術の向上</p>  <p>(1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員会議などで、保育の工夫、サービスの向上のあり方を常に議論し、勉強の場を持っています。さらに、困難事例のケース研究を行う中で、より一層のサービス向上の工夫を目指しています。 ・ 保育士は週案、月案を作成する際に、それまでの実践を計画に照らして振り返り、文章として記述し、次の計画を策定する仕組みとなっています。 ・ 保育士等の振り返りの結果を共有していますが、保育所全体としての、事業計画・目標に対する達成状況や課題、課題解決に向けた改善方法などが明記された自己評価書類は作成されていません。 ・ 今後は、職員全員がかかわる形で自己評価を行い、評価結果を保護者などに公表することが望まれます。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p>  <p>(1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務確認シートを作成しています。シートには業務内容や課題、園長・主任からのコメントが書かれており、保育士等の状況に合わせて役割、期待水準が明確にされています。 ・ 職員会議などで職員からの業務改善の要望を出してもらうほか、園長や主任は日常的に職員からの要望に耳を傾ける努力をしています。 ・ 保育士等に対して、年2回の園長面談により、職員等の満足度、要望などを把握しています。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p>  <p>(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。 (2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規範・倫理が明文化されています。倫理規定は運営法人によって作られており、それが全職員に配布されています。 ・ 年間の事業を総括した事業報告書は、保育園の入り口にファイルしており、保護者がいつでも見られるようになっています。 ・ ゴミの分別収集をしています。また、裏紙の使用などを行い、リサイクルのための取り組みを行っています。 ・ 必要のない電気はこまめに消したり、空調などは適切な温度管理を行っており、省エネルギーに取り組んでいます。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  <p>(1)保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。 (2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。 (3)主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当保育園の理念・基本方針を明文化した「業務マニュアル」を職員に配布しており、さらに各保育室・休憩室に掲示しています。 ・ 年に2回、園長が職員に面談を行っており、職員が理念・基本方針を理解しているかを確認しています。 ・ 職員会議、リーダー会議は頻繁に開催されており、重要な意思決定等に関して、職員とは意見を交わしています。 ・ 年間行事など重要なイベントに関しては、さまざまな部署からの職員が、チームを設けて企画や運営を行っており、組織をあげて取り組む仕組みがあります。 ・ 保育士は困ったことや、問題が生じたときなどは、気軽に主任に相談しています。また、主任から見て問題と感じたときには、現場に積極的に助言し、支援しています。 ・ 主任は週の計画を立て、日案などのシフト表を基に、保育士等の勤務に無理がないように配慮しています。
<p>- 3 効率的な運営</p>  <p>(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。 (2)保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業運営にかかわりのある情報は、マスメディアだけでなく、横浜市などからの情報を収集し、分析しています。 ・ 運営上重要な課題に関しては、職員会議で議論し、職員に周知しています。 ・ 園としての中長期計画は持っていませんが、運営法人が他の保育園も含めて、全体的な中長期的な計画を策定しています。 ・ 運営法人は、今後の保育環境の変化を勘案しつつ、今後のサービスや運営のあり方を検討しています。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2011年9月20日～10月3日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
なお、外国につながる保護者の個別の状況に合わせて、
日本語以外の言語でもアンケート用紙を作成した。
- 3、回収率 71.8%（78枚配付、56枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...6人、1歳児クラス...12人、2歳児クラス...9人、3歳児クラス...11人、
4歳児クラス...8人、5歳児クラス...10人

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値です。

アンケート結果に見る当園の特徴

総合的な満足度の評価は、「満足」が57.1%、「どちらかという満足」が42.9%と合わせて100%が満足している結果となっており、保護者からは非常に満足度の高い保育園と言えます。以下はその中から見えてきた保育園の特徴です。

1、問3 年間の計画について

「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか」という問いに対する満足度が67.9%と、他の設問に比べて相対的に低くなっています。この理由として、自由回答欄にある“行事の詳細についてもっと早く知りたい（時間など）”“年間計画表を渡すだけでなく、行事の一ヶ月前ぐらいから何をやるかという案内がほしい”といった要望が背景にあるとも考えられます。また“行事ごとにアンケートなどで意見交換できると良いと思う。先生方だけではなく保護者も集計内容が見られるといい”といった意見もありました。

2、問5 快適さや安全対策などについて

この中で「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについて」という質問に対しては96.5%ときわめて高い満足度となっています。その反面「外部からの不審者侵入を防ぐ対策について」は80.4%とやや低い数値となっています。園として対策をしっかりと取っていることがまだ認識されていないのかもしれませんが、園の安全対策を保護者の方に説明しておく必要があるかと思われます。

3、問6 園と保護者の連携・交流について

いくつかの質問の中で、最も満足度が高い質問項目は、「園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供について」で94.7%でした。また「開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応」も92.8%と高い満足度でした。このように、園の情報提供や、残業時に対する柔軟な対応は満足しているようでした。その一方、「送り迎えの際の子どもの様子に関する情報交換について」は76.7%と相対的に満足度が低くなっていました。自由回答に“迎えのときにもう少し一日の状況を話してもらえると嬉しい”や“降園時の一日の園の報告が簡素になってしまった。”という意見が見られるように、保育士と保護者の日常的な接触、コミュニケーションが不足しているとの感じを持っている人が多いことが推測されます。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

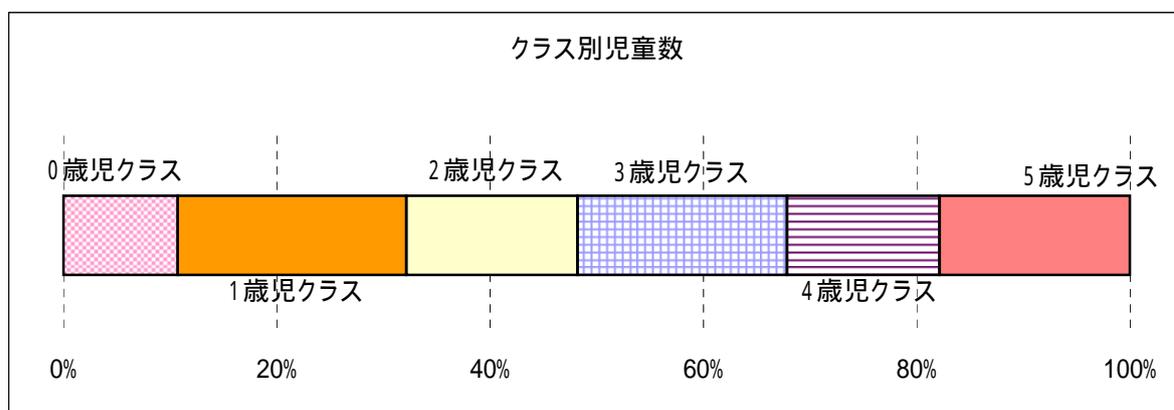
実施期間： 2011年 9月20日～10月3日

回収率： 71.8% （回収56枚 / 配布78枚）

【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
56	6	12	9	11	8	10	0

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



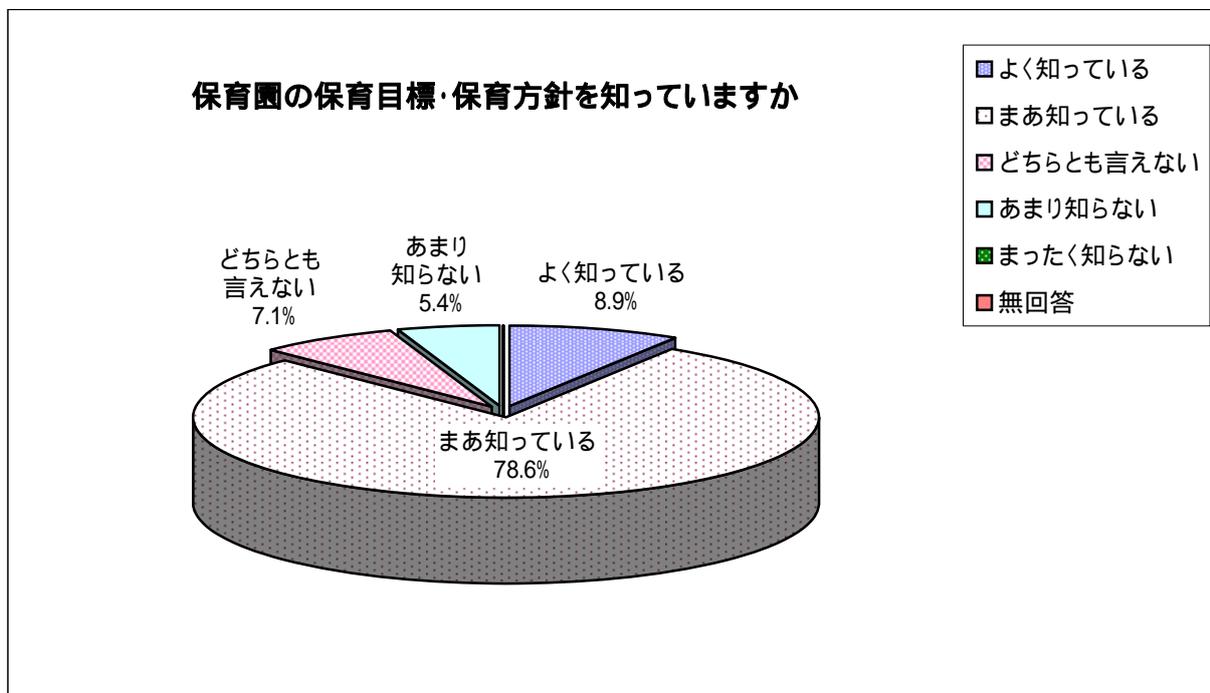
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	8.9	78.6	7.1	5.4	0.0	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

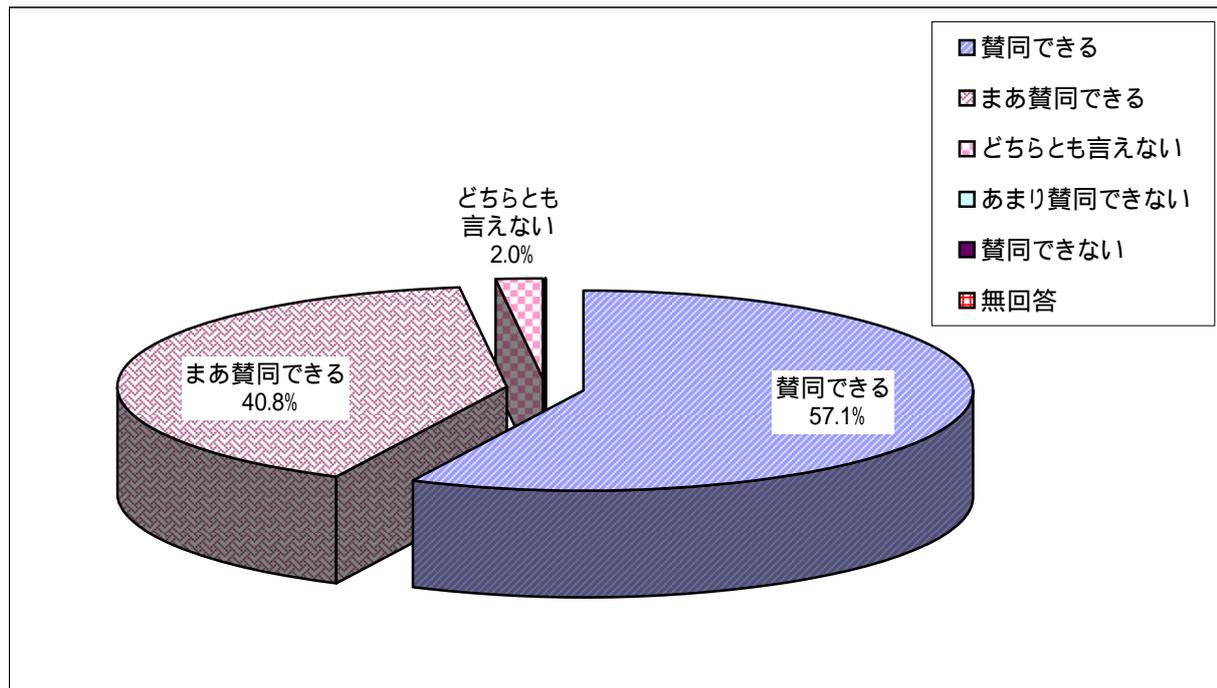


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	57.1	40.8	2.0	0.0	0.0	0.0	100



保育園のサービス内容について

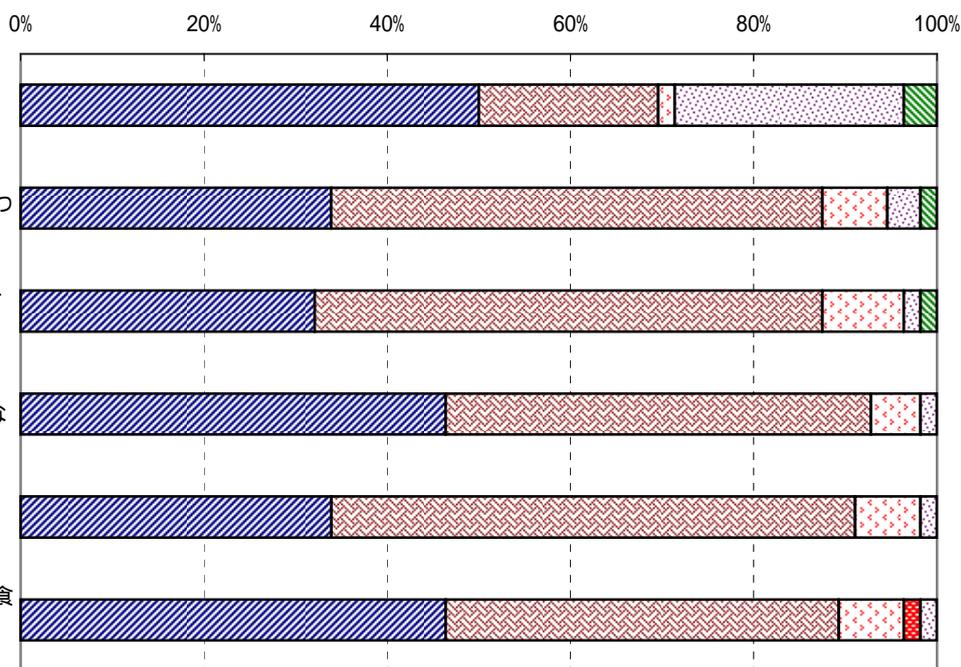
問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	50.0	19.6	1.8	0.0	25.0	3.6	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	33.9	53.6	7.1	0.0	3.6	1.8	100
園の目標や方針についての説明には	32.1	55.4	8.9	0.0	1.8	1.8	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	46.4	46.4	5.4	0.0	1.8	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	33.9	57.1	7.1	0.0	1.8	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	46.4	42.9	7.1	1.8	1.8	0.0	100

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



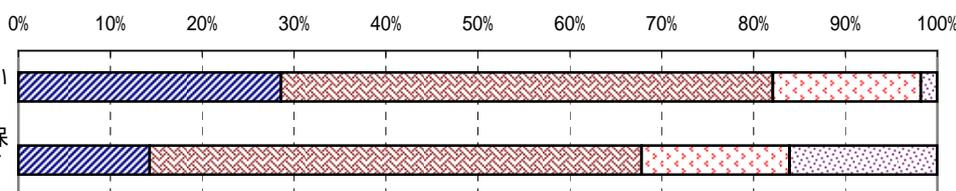
問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	28.6	53.6	16.1	0.0	1.8	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	14.3	53.6	16.1	0.0	16.1	0.0	100

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問4 日常の保育内容について

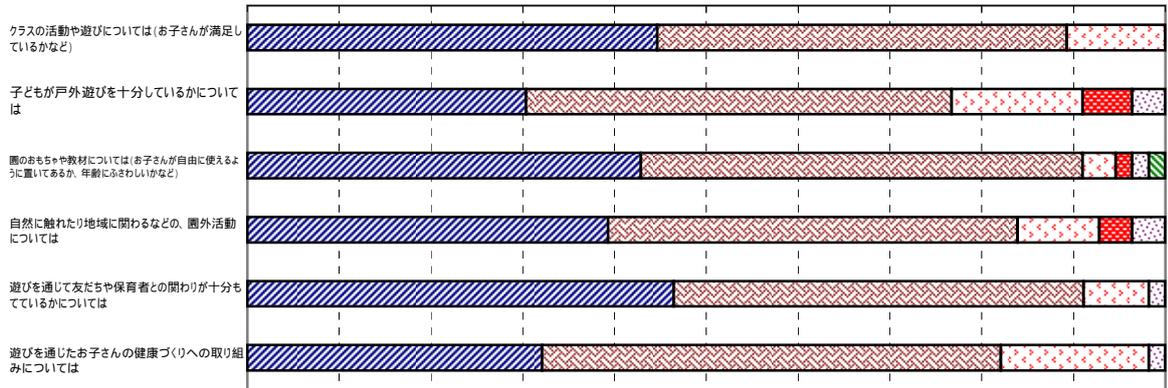
(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	44.6	44.6	10.7	0.0	0.0	0.0	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	30.4	46.4	14.3	5.4	3.6	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	42.9	48.2	3.6	1.8	1.8	1.8	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	39.3	44.6	8.9	3.6	3.6	0.0	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	46.4	44.6	7.1	0.0	1.8	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	32.1	50.0	16.1	0.0	1.8	0.0	100

日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



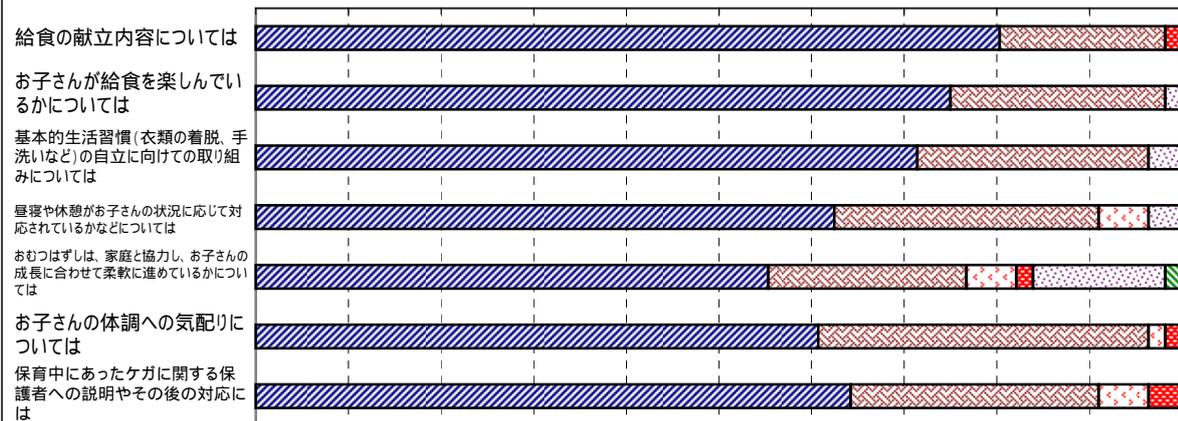
(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	80.4	17.9	0.0	1.8	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	75.0	23.2	0.0	0.0	1.8	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	71.4	25.0	0.0	0.0	3.6	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	62.5	28.6	5.4	0.0	3.6	0.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	55.4	21.4	5.4	1.8	14.3	1.8	100
お子さんの体調への気配りについては	60.7	35.7	1.8	1.8	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	64.3	26.8	5.4	3.6	0.0	0.0	100

日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



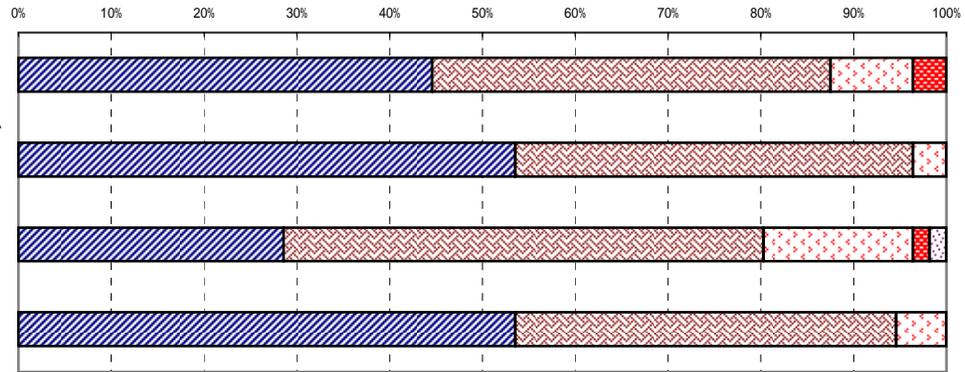
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	44.6	42.9	8.9	3.6	0.0	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	53.6	42.9	3.6	0.0	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	28.6	51.8	16.1	1.8	1.8	0.0	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	53.6	41.1	5.4	0.0	0.0	0.0	100

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



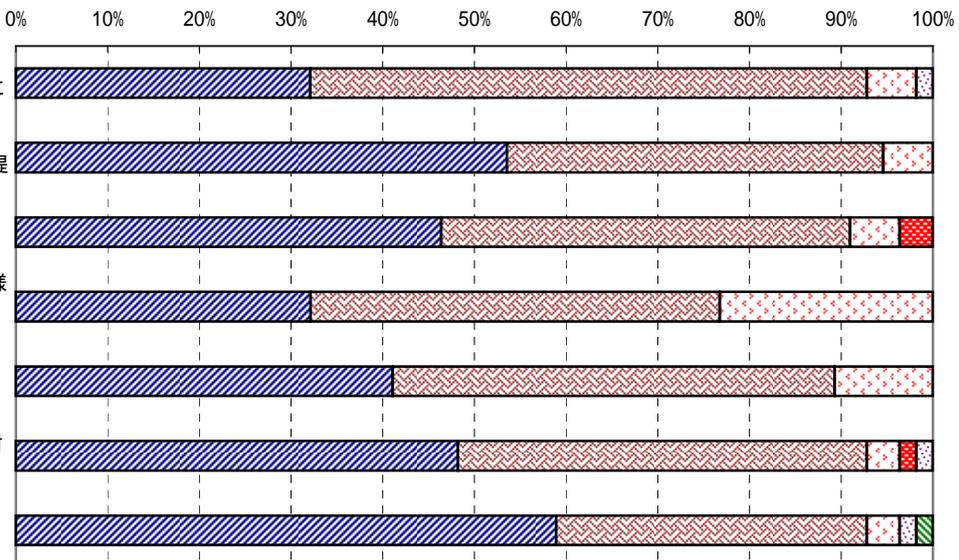
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	32.1	60.7	5.4	0.0	1.8	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	53.6	41.1	5.4	0.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	46.4	44.6	5.4	3.6	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	32.1	44.6	23.2	0.0	0.0	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	41.1	48.2	10.7	0.0	0.0	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	48.2	44.6	3.6	1.8	1.8	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	58.9	33.9	3.6	0.0	1.8	1.8	100

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問7 職員の対応について

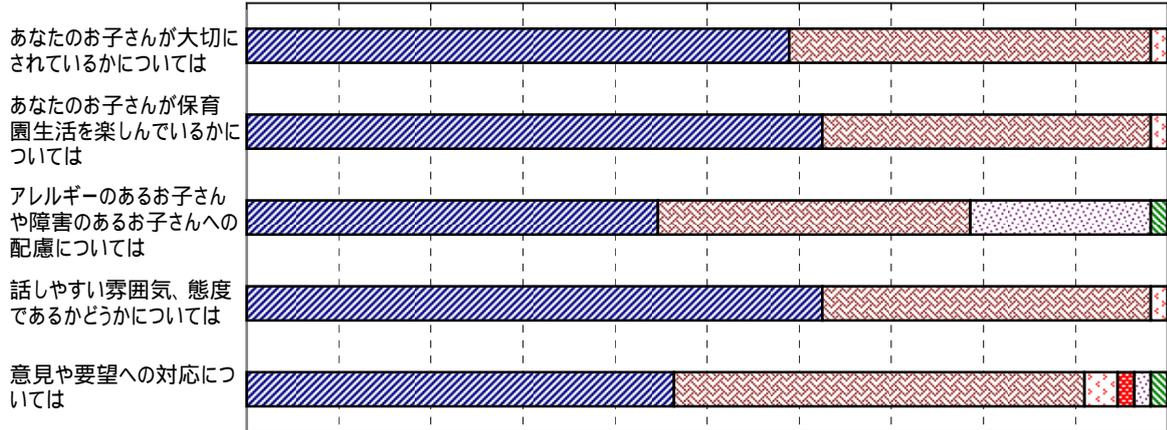
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	58.9	39.3	1.8	0.0	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	62.5	35.7	1.8	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	44.6	33.9	0.0	0.0	19.6	1.8	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	62.5	35.7	1.8	0.0	0.0	0.0	100
意見や要望への対応については	46.4	44.6	3.6	1.8	1.8	1.8	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

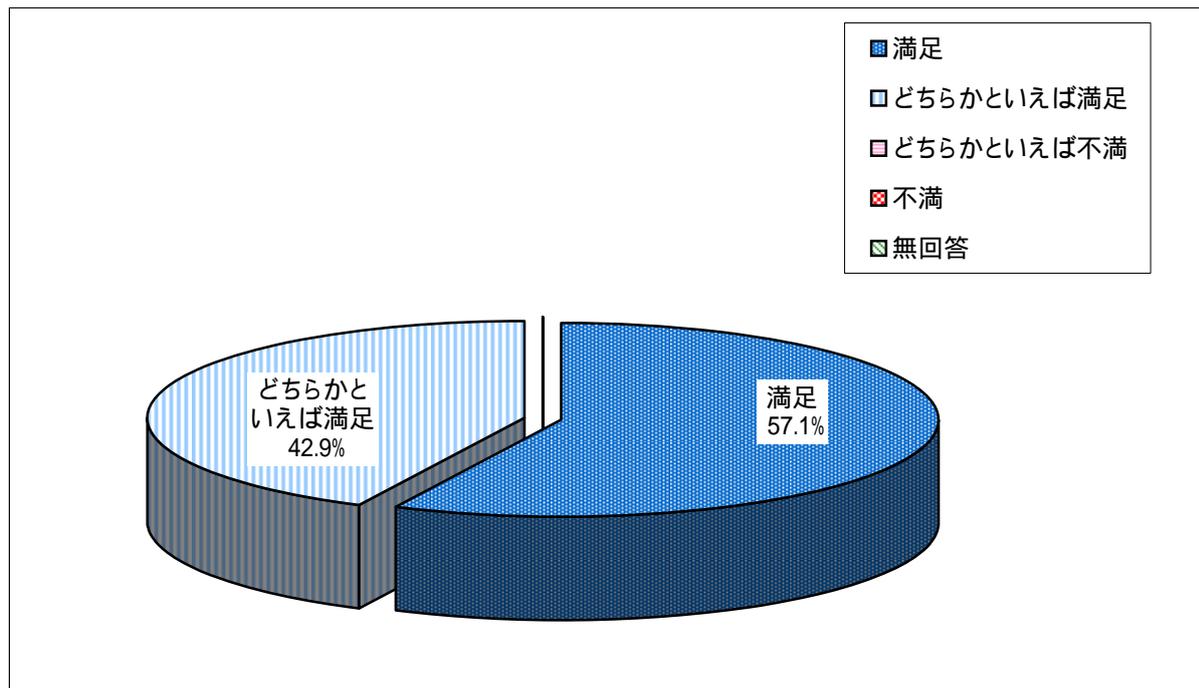
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0	100



利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 11月10日（木）9：10～12：40 11月15日（火）8：25～12：30

観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

0歳児クラス

子ども6人、保育士2人が保育室にいます。おもちゃで遊んでいる子どももいますが、はいはいで動き回る子どもなどもあります。保育士は子どもの様子を見て、位置が変わるときはお互いによく声をかけあっています。

上着を着せて散歩の準備をし、廊下を回って園庭に出ます。散歩車に乗った子どもたちとすれ違うとき、地域のおばさんが手を振ってくれます。散歩で出会う地域の人たちの子どもを見る目は優しく、みんな子どもに声をかけてくれます。

公園に着くと、歩ける子どもには靴を履かせます。子どもたちは歩けるのがうれしそう、それぞれ好きな方向に歩きだします。保育士は子どもを自由に歩かせてそばで見守り、危ないときには止めています。

園に戻ると、上着と靴下を脱がせて、一人ずつ手を洗います。一人ずつ声をかけてオムツをゆっくり替えて、食堂スペースに移動します。一つのテーブルに2人ずつ子どもが座り、保育士がつき、食事が始まります。食事は子どもによって少しずつ形態が違います。保育士は少しずつ食べる物をお皿に載せて見守り、「上手」「すごい」「もぐもぐ」「えらい」などと声をかけています。食べ終わった子どもで授乳する子どもは抱いて授乳しています。全員が食べ終わった段階で片付けをし、本読みをします。

1歳児クラス

朝、子どもたちは自由に遊んでいます。保育士が「おかたづけ」と声をかけるとおもちゃをしまい、テーブルに移動し、座ります。保育士が絵本を読み聞かせると、子どもたちは絵本についていろいろ話し出し、動物が出てくるたびに「りすさ～ん」「くまさ～ん」「ねずみさ～ん」などと言います。にぎやかではありますが、集中して聞いています。

キーボードが出てきて、朝の歌「先生おはよう…」を歌います。子どもたちは手をたたいたり、「おはよう」でお辞儀したりします。出欠の点呼で、名前を呼ばれると手を挙げます。

散歩のときには、よく歩く子どもは保育士に手をひかれて歩いています。3人は散歩車です。公園に到着すると、公園でのお約束をしてから自由行動です。「ドン」という保育士の声で一斉に走り出しますが、そのまましゃがんでいて動かない2人には保育士が声をかけて誘い出しています。みんなうれしそうに、公園いっぱい自由に走り回り、笑顔いっぱいとても楽しそうでした。

食事のときに、保育士が席につくと「先生食べてよい？」「先生のおはしは？」と口ぐちにおしゃべりしてにぎやかです。保育士も「すごい」「よく食べるね」「おいしいね」「ぴかぴかだね」などと声をかけます。おかわりをほしがる子どもには「おかわりください」と自分で言ってもらってからおかわりを配っていて、食べられない子どもには減らして、少しは食べるよう誘っていました。

2歳児クラス

7名の子どもが床の上で遊んでいます。保育士が「トイレに行く人いますか？」と声かけすると、4名が「行く」と答えました。出欠の確認のために名前を呼びます。全員が机の前の椅子に座り、タオルで手をふいた後で、保育士がお茶を全員に配りました。それを飲んだ後に、トイレに行きます。全員がトイレに入りきれないので、廊下で1列に座って並んでいます。保育士は並んでいる子どもに絵本を読み聞かせて退屈させないように気を配っています。トイレを終了して部屋の中で靴下、コート、帽子を着させています。

1階に下りて、門の内側で整列後、公園に出発です。路上では、子どもは2人ずつ手をつなぎ、その片方

の子どもの手を保育士が手をつないでいます。保育士3名で10人の子どもを連れて行きました。公園に到着すると、子どもたちは馬乗り遊具、すべり台、うんてい、砂場など思い思いの遊具で遊びます。保育士は危険がないように見守っています。

公園から帰る道の途中に、東海道線の鉄橋を通ります。そこで立ち止まって、しばらく列車が通るのを見えています。列車に向かって「バイバイ！」と叫んでいる子どももいます。列車を見るのが楽しい様子です。

園に戻ると給食です。保育士が給食のメニューを紹介します。「給食々々うれしいな」の歌を斉唱します。「いただきます」の後に全員が食事を始めました。おかわりをする子どももいます。子どもたちは、お互いに多少話をしつつ、全体として落ち着いて食事をしています。

3歳児クラス

最初、4、5歳児の保育室に合同で座っていましたが、ラジオ体操を終了した後、3歳児の保育室に移動しました。立って「気をつけ」の姿勢を取り、キーボードの伴奏で「先生おはよう」の歌を元気に歌いました。出欠の点呼で元気よく返事をします。

トイレに行き、外出の用意をします。1列縦隊になって、2階から1階に下り、玄関で靴下、靴を履いて門の内側で整列します。手をつなぐお友だちがなかなか決まりませんが、保育士は、自由に相手を選ばせています。

公園に到着すると、保育士が公園内のゴミを拾ってビニール袋に入れます。うんていに集まり1人ずつ練習し、一通りうんていを終えると、自由遊びです。滑り台、うんてい、馬乗り、そのあたりを駆け回るなど、自由に遊んでいます。

園に戻ると、それぞれが靴下を靴下入れに入れてあります。2階の保育室に戻り、3つの机に3グループに分かれて座ります。お茶、おかず、豚汁、ごはんなどが配られた後に、給食の歌を斉唱して食事開始します。子どもたちはおしゃべりをしながら食事をしています。最後に、一斉に「ごちそうさま」を言います。

4歳児・5歳児クラス

4歳児と5歳児の部屋は、間に低い背丈の棚があるだけで、パーティションなしで、合同保育が日常的にされています。保育士がどんな遊びをしたいかを問いかけ、「おままごとをしたい子？」に手を上げた子どもはプレイルームに行きます。「お絵かきしたい」子はそのまま保育室に残ります。保育士は保育室とプレイルームに分かれてついています。お絵かきのグループは、文字を書く子ども、塗り絵をする子ども、丸や線を描く子ども、大きく色合いの良い絵を描く子どもとそれぞれ自由に取り組みます。月年齢により差がありますが、みんなおしゃべりしながら楽しそうに描いています。おままごとの子どもたちもそれぞれのペースで遊んでいます。友だちと役割を決め遊んでいる子どもたちもいます。

組別に分かれて朝の会。今日の当番、今日の予定等を説明します。保育士が「何やりたい？」と子どもたちに問いかけながら信濃町公園に行くことを決めます。トイレ、着替え、と公園に行く準備をします。4歳児と5歳児が手をつなぎます。消防署の前で「こんにちは」と大きな声であいさつをしました。公園に到着すると、子どもたちは思い思いに滑り台を滑ったり、アスレチックをしたり、ブランコに乗ったりしています。5歳児は準備運動のあと2チームに分かれてドッジボールを始めます。小競り合いがあり、ボールの取り合いで泣きだす子どももいました。一人が泣きだすと何人かが泣き出しますが、保育士は「どちらもよくがんばっていたよ」と子どもに声をかけています。

整列し、園に戻りました。4歳児から部屋に戻ります。手洗い、うがい、着替え、トイレを順番にさせ、子どもたちは、爪ブラシを用いとても丁寧に手を洗っていました。配膳では、ごはんと汁は保育士が注ぎ、給食当番の子どもたちが配ります。

栄養士が三食栄養素のパネルを用いて、今日の献立の食材がどの色になるかクイズをします。ご飯が白、野菜が黄色はみんなよく分かりますが、卵、豆腐などのたんぱく質が赤になることを理解することが難しいようです。みんなにぎやかに答えていて、盛り上がっています。

まとめ

子どもたちは、自由にのびのびと過ごしています。これは保育士が見守りの姿勢を大切にし、子どもたちの自主性を尊重していることによると考えられます。子ども同士の争いが生じた場合にも、一方的にしかるのではなく、その原因を考えさせ、納得するまで話し合いさせるなど、自立性を育てています。特に、4歳児、5歳児にこの傾向が強く見られます。

4歳児、5歳児は観察時には同一の部屋で合同保育をしており、大人数の保育になりがちです。その反面、年齢差を感じさせない保育もできるという利点もあります。

公園を保育の場として積極的に使っています。その行き帰りの行程で、近所の方々とあいさつを交わすなど、近隣との関係が良好に保たれる背景ともなっているようです。園庭が狭いことも、公園という広い空間が補っていると思われます。

事業者コメント

保育園開園三年目。保育の目標である「温かい陽だまりのような保育園」「第二の家庭のような保育園」と、「風通しの良い職員のチームワーク作り」を目指している日々です。

さて今回約半年をかけての第三者評価の受審は、まず「どんなふうに取り組もうか」と考えるところから始まりました。審査の質問項目を見て、「普段一生懸命やっているはずなのにどのように答えたらよいのだろう」とみんなで溜め息をついたこともありましたが、そんな中、人権の尊重・保育の充実・地域との交流・透明性のある運営・職員の資質の向上などの質問の意図を読み取り、自分たちの保育をもう一度振り返ることでたくさんの気づきがありました。保育園としての役割も社会に発信していく大切さも分かりました。

また、一日 13 時間の開園の中でもさまざまな職員がいて、共通の理解や認識をしていく作業の中でもそれぞれが責任と誇りを持ち保育園を運営していることを改めて感じることができました。

審査を受けたことで見えてきた今回不足なところは、すぐにでも取り組んでいきたいと思っています。

今回の評価では保護者の方々には、お忙しい中アンケートに協力していただきありがとうございました。今後も子どもたちを真ん中に「生きる力」や「人としての智慧」を持った子育てを、力を合わせてしていきたいと思っています。

最後に「市民セクターよこはま」の調査員の皆様には、きめ細やかに、温かいまなざしで評価していただいたことに大変感謝しております。ありがとうございました。

今後とも質の良い保育を目指して努力して参りたいと思います。

にじいろ保育園 品濃町
園長 小澤 みず糸

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見ることができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>



特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>
